

## 中部圏における大規模水素社会実装の実現に向けた 包括連携協定締結並びに中部圏大規模水素サプライチ ェーン社会実装推進会議の発足について

株式会社日本政策投資銀行（以下「DBJ」という。）が参画する「中部圏水素利用協議会」（以下「協議会」という。）（注1）は、中部圏における水素の大規模実装と安定的な利用のためのサプライチェーン構築を実現することを目的に、岐阜県、愛知県、三重県及び名古屋市（以下「3県1市」という。）並びに名古屋商工会議所、一般社団法人中部経済連合会及び中部経済同友会（以下「経済3団体」という。）と、「中部圏における大規模水素社会実装の実現に向けた包括連携協定」（以下「本協定」という。）を締結いたしました（注2）。

また、本協定締結とあわせ、前述の目的達成に向けた具体的な取り組みを推進するため、「中部圏大規模水素サプライチェーン社会実装推進会議」を発足いたしました。

「2050年のカーボンニュートラル（CN）」を目指す中で「水素社会」の実現は重要な役割を担っており、大規模水素のサプライチェーン構築に向けた取り組みを推進して行く上で、政府・自治体・経済界・産業界が一体となった取り組みが必要となっています。中部圏は多様な産業が広く展開しておりCO2削減/水素需要ポテンシャルが大きく、産業構造・エネルギー転換及びサプライチェーン改革を図っていくためのモデル地域として最適であると考えており、志を同じくする3県1市、経済3団体、協議会にて本協定を締結し、中部圏における大規模水素社会実装の活動を具体的に検討し加速させていきます。

本協定では、「2050年のCN」達成の重要な役割を占める水素サプライチェーンの社会実装に向け、3県1市並びに経済3団体と次の事項について連携します。

- (1) 水素の輸入・貯蔵・供給・利用を促進するためのインフラ整備や計画の策定等の各種取り組み
- (2) 水素の利活用促進に資する取り組み
- (3) その他、水素社会の早期実現のために必要な取り組み

DBJでは第5次中期経営計画において、持続可能な社会への貢献に向けた「GRI T戦略（注3）」を推進することとしています。本協議会への参画を通じ、2050年のCN達成の重要な役割を担う大規模水素のサプライチェーン構築を推進することで、持続可能な社会・地域活性化への貢献に取り組んでまいります。

(注1) <会員企業等、50音・アルファベット順>※事務局

出光興産株式会社、岩谷産業株式会社、ENEOS株式会社、JFEエンジニアリング株式会社、川崎重工業株式会社、※住友商事株式会社、中部電力株式会社、中部国際空港株式会社、千代田化工建設株式会社、東邦ガス株式会社、※トヨタ自動車株式会社、豊田通商株式会社、日本エア・リキード合同会社、日本製鉄株式会社、※株式会社三井住友銀行、三菱ケミカル株式会社、DBJ

(注2) <締結式イベント詳細>

日時：2022年2月21日(月) 17:00～17:30

場所：ウインクあいち（愛知県産業労働センター） 11階 1103会議室

出席者（※印はリモート参加）

愛知県 : 知事 大村 秀章  
三重県 : 知事 一見 勝之(※)  
岐阜県 : 知事 古田 肇(※)  
名古屋市 : 市長 河村 たかし(※)  
経済3団体 : 名古屋商工会議所 専務理事 内田 吉彦/代理出席(※)  
(一社)中部経済連合会 専務理事 小川 正樹/代理出席(※)  
中部経済同友会 専務理事 田中 喜好/代理出席(※)  
中部圏水素利用協議会 : 会長 寺師 茂樹



(出所：中部圏水素利用協議会より提供)

(注3) G：グリーン社会の実現、R：しなやかで強い安心安全な地域・社会や産業基盤の構築、I：事業化可能と評価できるイノベーションへの取り組み、T：現在の事業基盤を前提とした移行に向けた戦略的取り組み、を表すもので、第5次中期経営計画においてDBJグループが重点的に取り組む分野を表したもの。

【お問い合わせ先】

東海支店 電話番号 052-589-6892